

## 放送ストリーミング情報収載

### 放送ストリーミング情報【2025No.365】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：グスタフ・マーラー他

曲名：交響曲第1番ニ長調《巨人》他

演奏：トゥガン・ソヒエフ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55639>

2024年1月11日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



#### ソヒエフがマーラー《巨人》を指揮

トゥガン・ソヒエフ指揮によるこのベルリンフィル公演は、リリ・ブーランジェの繊細で軽やかな作品《春の朝に》で幕を開けました。続けて、世界初演となったシン・ドンフンの《Threadsun》は、パウル・ツェランの詩に着想を得て書かれたヴィオラ協奏曲。第1ソロ・ヴィオラ奏者のアミハイ・グロスが、その独奏を務めました。後半に演奏されたマーラーの交響曲第1番では、オーケストラと指揮者が「深い強度と美しい音の精緻さ」で演奏を展開し、「これほどまでに明瞭で心に響く演奏は稀」であったと評されました（「ターゲスシュピーゲル」紙）。

以上の他に下記が演奏されました。

リリ・ブーランジェ 《春の朝に》(管弦楽版)

シン・ドンフン

ヴィオラとオーケストラのための《Threadsun》

(財団法人ベルリンフィル、トーンキュンストラ管弦楽団、ミネソタ管弦楽団、京畿フィルハーモニー管弦楽団共同委嘱作品・初演)

アミハイ・グロス(ヴィオラ)

ブーランジェの《春の朝に》は軽快な小品です。

ドンフンのヴィオラとオーケストラのための《Threadsun》はヴィオラ協奏曲の体裁を有する現代曲です。グロスのヴィオラが縦横に展開します。

マーラーの交響曲第1番《巨人》は、お馴染みの曲です。ソヒエフが切れの良い指揮で、抒情的な表情から劇的な盛り上がりまで、この曲の魅力を引き出しています。

スピーカーアキュライザーのマイナス端子に Crstal Ep-G を接続した効果や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結した効果などで、細かい抒情的な表情の表現から破綻のない劇的な盛り上がりまで再生レベルの向上が認められます。



以上